

# CASBEE® 広島

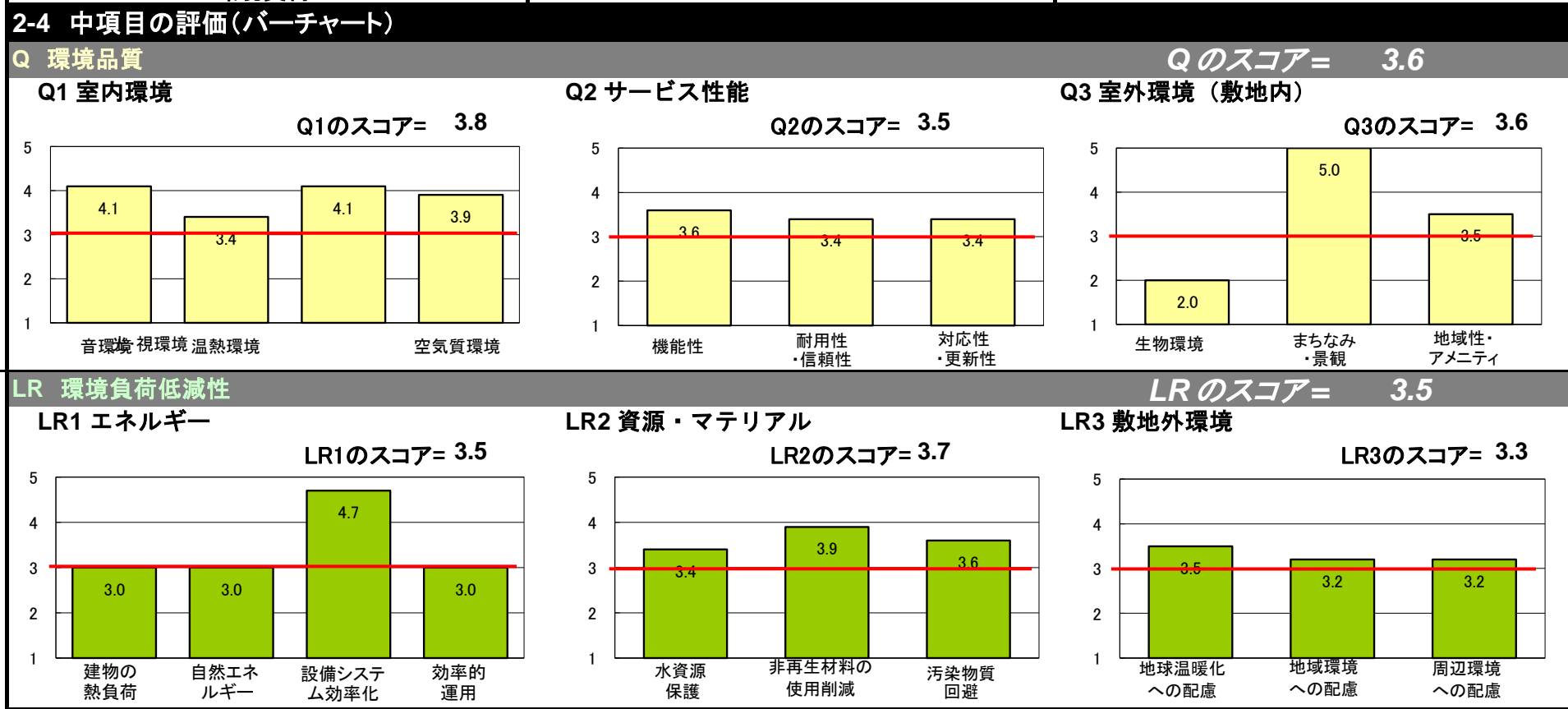
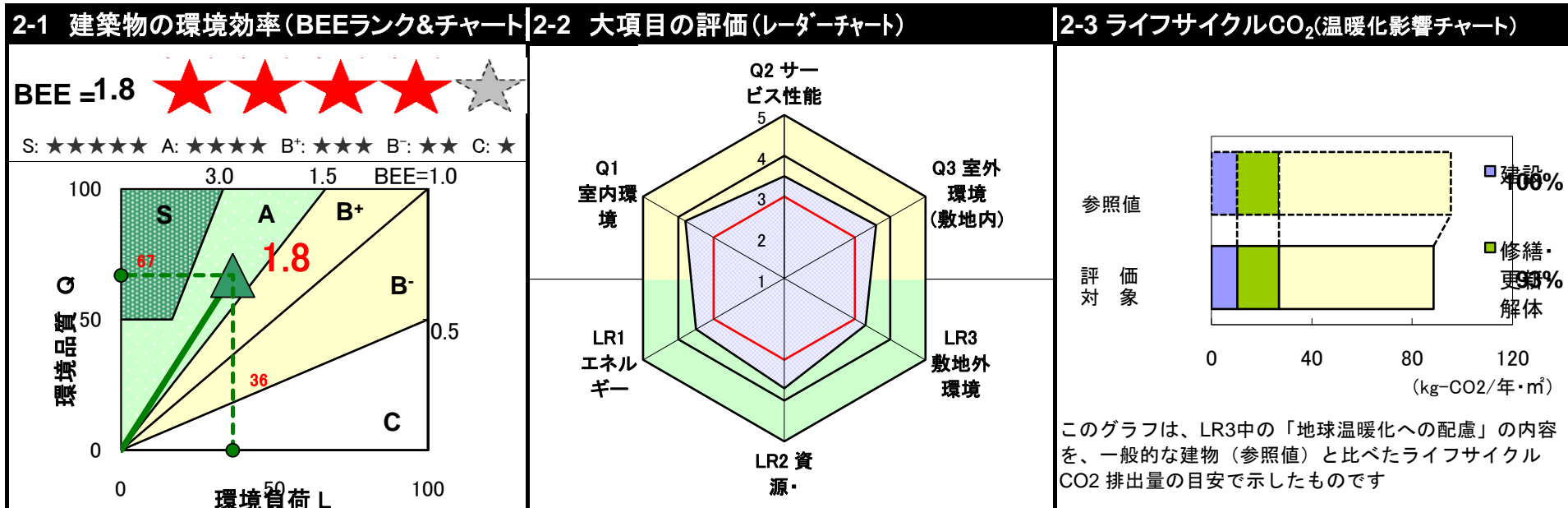
(2010年ver.1)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	駿台予備学校 広島校	階数	地上8F
建設地	広島市東区光町26番3号他	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,113 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,680 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2013年1月16日
敷地面積	860 m <sup>2</sup>	作成者	永田 啓明
建築面積	511 m <sup>2</sup>	確認日	2013年1月16日
延床面積	3,497 m <sup>2</sup>	確認者	中島 功義



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 2.4	スコア = 3.4
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> ・高性能複層ガラスの採用等、外壁の室内への熱の侵入に対し配慮した。// ・高効率機器を採用した。// ・節水コマに加え、擬音、節水型便器を採用し、節水に配慮した。・路盤、舗装用ブロック等、リサイクル材を積極的に採用した。・躯体と仕上材が容易に分別できる材料を採用するなど、リサイクルに配慮した。/ ・LCCO <sub>2</sub> 排出率が一般的な建物(参照値)に対し、約7%低減させた。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> / ・適切な数の駐車場、自転車置場を確保し、また、駐車場の主要な出入口は周辺道路の渋滞の影響の少ない道路に面して計画した。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> ・制震構造を採用した。・主な外壁仕上げ材の補修必要間隔は30年以上のものを採用した。・主な内装仕上げ材の補修必要間隔は20年以上のものを採用した。・レベル5を満たす配管を使用した。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される